

2 学校給食のあゆみ

(○印：全国の動き)

年月	移りかわり
明治22年10月	○山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で、貧困児童に対し、無料で給食を実施。これが我が国の学校給食の始まりである。
昭和21年12月	○戦後の新しい小学校給食開始の方針が定まる。栄養基準量(熱量、たんぱく質のみ)も示される。
昭和22年1月	○連合軍やララ委員会(米国のアジア救済団体)等の援助物資により、全国都市部にて学校給食が始まる。
昭和24年10月	○ユニセフからの寄贈によるミルク給食開始
昭和25年7月	○8大都市の小学校児童に対し、米国寄贈の小麦粉により初めて完全給食を実施
昭和27年	○小麦粉に対して、半額の国庫補助が開始される。
昭和29年6月	○「学校給食法」成立、公布される。学校給食の栄養所要量も示される。
〃 7月	玉川小学校補食給食開始
昭和30年1月	荻野小学校補食給食開始
昭和35年	○学校栄養士配置が制度化される。
昭和36年1月	厚木小、相川小学校完全給食開始
〃 5月	荻野小学校完全給食へ移行
〃 6月	玉川小学校完全給食へ移行
昭和37年2月	清水小学校完全給食開始
〃 3月	南毛利小学校完全給食開始
〃 4月	○学校給食栄養所要量の基準が改訂される。
〃 11月	相川中学校ミルク給食開始
〃 12月	厚木中学校ミルク給食開始
昭和38年	○脱脂粉乳に国庫補助が開始される。
〃 1月	菁莪小学校完全給食開始
〃 2月	三田小、小鮎小学校完全給食開始
〃 6月	依知中、荻野中、睦合中、小鮎中、玉川中、南毛利中学校ミルク給食開始
昭和39年3月	依知小学校完全給食開始
〃 4月	依知小学校が2校に分かれ、北小学校が依知学校給食共同調理場となる。
〃 6月	厚木第二小学校開校に伴い、厚木小学校が厚木小学校給食共同調理場となる。
〃 8月	○「学校給食用牛乳供給事業の実施について」文部・農林両次官から通達 ○学校給食共同調理場の施設設備費並びに学校栄養職員設置費の補助制度が設けられる。
昭和41年4月	緑ヶ丘小学校開校に伴い、南毛利小学校が南毛利小学校給食共同調理場となる。

年月	移りかわり
昭和42年	○ソフトスパゲティ式めん使用開始
昭和43年1月	相川小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
昭和43年4月	○給食用小麦粉の漂白を廃止、無漂白の小麦粉を使用開始
〃 7月	○小学校学習指導要領の改訂により、学校給食は「特別活動」の「学級指導」に位置づけられる。
昭和44年1月	三田小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
〃 4月	○学校給食共同調理場に、栄養指導センター併設のための補助金が予算計上される。 相川小学校が学校給食優良校として文部大臣から表彰を受ける。
昭和45年1月	玉川小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
〃 2月	○保健体育審議会から、学校給食の改善充実方策について文部大臣に答申がなされる。
〃 9月	依知学校給食共同調理場、依知南小学校へ移転
昭和46年1月	小鮎小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
〃 4月	○「学校給食の食事内容について」体育局長通知により標準食品構成表が示される。
〃 11月	玉川小学校県給食研究指定校発表を行う。
昭和47年1月	厚木第二小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。 玉川小学校が学校給食優良校として文部大臣から表彰を受ける。
昭和49年	○学校栄養職員が制度切替により県費負担職員となる。
〃 4月	市学校給食会の内部組織として、業者選定委員会、物資選定委員会を設置し、物資購入方法の切替を行う。 北部学校給食センター開設(対象校:厚木小・荻野小・三田小・清水小・小鮎小・厚木第二小・緑ヶ丘小学校)・依知学校給食共同調理場(北小・依知南小学校)・玉川小・南毛利小・相川小学校の5施設となる。
昭和50年1月	南毛利小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
〃 9月	○給食用小麦粉へのL-リジンの添加が中止となる。 戸室小学校開校、北部学校給食センター対象校となる。
昭和51年4月	○学校給食制度上に米飯が正式導入される。 愛甲小学校開校、南毛利小学校給食共同調理場となる。
〃 9月	妻田小学校開校、北部学校給食センター対象校となる。
〃 12月	○学校給食開始30周年となる。
昭和52年4月	鳶尾小学校開校、北部学校給食センター対象校となる。
〃 7月	○小学校及び中学校の学習指導要領が改正される。
昭和53年4月	清水小学校、北部学校給食センター対象校から単独校となる。
〃 5月	相川小学校、校舎建設に伴い北部学校給食センター対象校となる。

年月	移りかわり
昭和54年 9月	清水小学校を共同調理場とし、妻田小学校を北部学校給食センター対象校からはずし、対象校とする。 愛甲小学校を北部学校給食センター対象校とし、南毛利小学校を単独校とする。
〃 10月	市学校給食会の内部組織として米飯給食実施研究会を設置する。 荻野小学校が学校給食優良校として文部大臣から表彰を受ける。
昭和55年 4月	南部学校給食センター開設(対象校：厚木小・南毛利小・相川小・厚木第二小・戸室小・愛甲小・妻田小)、北部学校給食センター(対象校：北小・荻野小・三田小・清水小・小鮎小・緑ヶ丘小・鳶尾小)、依知南小・玉川小学校の4施設となる。 毛利台小学校開校に伴い、南部学校給食センター対象校となる。 上荻野小学校開校に伴い、北部学校給食センター対象校となる。
〃 9月	玉川小学校、南部学校給食センター対象校となる。
〃 10月	市学校給食会の内部組織として学校給食費研究会を設置する。
昭和56年 4月	米飯給食を委託炊飯一食弁当箱盛付方式で4月22日から週1回、5月11日から週2回実施する。 厚木市農協から保温箱460個の寄贈を受ける。米消費拡大推進協議会から、箸の寄贈を受ける。
〃 7月	○臨時行政調査会から第一次答申が出され、学校給食業務の合理化についての指摘が行われる。
昭和57年 1月	依知南小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
〃 4月	牛乳容器をビン装から紙装に切り替える。
昭和58年 1月	北小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
〃 3月	○臨時行政調査会から学校給食業務の合理化ならびに国の助成措置の見直し等について最終答申が出される。
昭和59年 1月	鳶尾小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
〃 4月	飯山小学校開校、北部学校給食センター対象校となる。
〃 9月	○学校給食法制定30周年 ○総務庁より学校給食関係業務の簡素合理化についての勧告がなされる。
昭和60年 1月	○体育局長通知「学校給食業務の運営の合理化について」が出される。
〃 4月	森の里小学校開校、南部学校給食センター対象校となる。
昭和61年 1月	○保健体育審議会から、文部大臣に対し「学校給食の食事内容の改善について」及び「学校栄養職員の職務内容について」の答申が出される。
〃 2月	○学校給食栄養所要量の基準が改訂される。
〃 3月	○体育局長通知「学校栄養職員の職務内容について」が出される。
〃 4月	○臨時教育審議会から内閣総理大臣に対し、「学校給食を通じて家庭の教育力の活性化を図る」旨の内容を含む第二次答申が出される。
〃 6月	○臨時行政改革推進審議会から最終答申が出され臨時行政調査会の答申の方向に添い、更に学校給食の合理化等を推進すべきことが指摘される。

年月	移りかわり
昭和62年1月	厚木第二小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。 北部学校給食センターが神奈川県学校給食優良共同調理場として表彰を受ける。
〃 3月	依知南小学校給食調理場閉鎖
〃 4月	依知南小学校、南部学校給食センター対象校となる。 依知小学校開校、南部学校給食センター対象校となる。 妻田小学校、南部学校給食センター対象校から、北部学校給食センター対象校となる。 厚木第二小学校が学校給食優良校として文部大臣から表彰を受ける。
昭和63年	○児童生徒数の減少により生ずる余剰教室等をランチルームに改修する事業への補助金が予算計上される。
〃 4月	戸田小学校開校、南部学校給食センター対象校となる。
〃 6月	市学校給食会の内部組織として学校給食安全衛生研究会を設置する。
平成元年3月	○小学校及び中学校の学習指導要領が改訂される。
〃 10月	ランチルーム設置校6校(緑ヶ丘小・小鮎小・清水小・愛甲小・戸室小・毛利台小学校)に強化磁器食器を導入する。 全校に丸スプーンを導入、併せて箸を毎日持参とする。
〃 11月	○学校給食が開始され100周年となる。
平成2年2月	第7回保健センター・婦人会館フェスティバルへ参加 学校給食コーナーを設け、学校給食の啓蒙を図る。
〃 10月	30周年記念厚木市学校給食展を開催する。(20日・21日)
〃 11月	第8回保健センター・婦人会館フェスティバルへ参加
平成3年1月	厚木市で完全給食が開始され満30年を迎える。
〃 10月	第1回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成4年1月	緑ヶ丘小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
〃 6月	厚木市の学校給食の在り方について、厚木市学校給食運営協議会へ諮問する。
〃 7月	○文部省「学校給食指導の手引」を改訂する。
〃 11月	第2回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成5年9月	鳶尾小・戸田小学校に大型生ごみ処理装置を設置
〃 10月	第3回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成6年3月	厚木市の学校給食の在り方について、厚木市学校給食運営協議会より答申を受ける。
〃 10月	第4回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成7年3月	○学校給食における標準食品構成表が改定される。
〃 4月	上依知小学校開校、北部学校給食センター対象校となる。
〃 11月	第5回しあわせライフ・フェスティバルへ参加

年月	移りかわり
平成8年5月	○学校給食用米穀取扱要領が一部改正される。
〃 6月	厚木市学校給食研究協議会を設置する。
〃 7月	○腸管出血性大腸菌O157による食中毒事故により、児童が死亡するなど各地で大きな被害がもたらされ、文部省においては、「学校給食における衛生管理の改善に関する調査研究協力者会議」が設置される。
〃 8月	○「学校環境衛生の基準」の一部改正（学校給食関係）
〃 10月	第6回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成9年4月	○「学校給食衛生管理の基準」が策定される。
〃 11月	第7回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成10年7月	厚木市学校給食研究協議会より「望ましい学校給食の在り方について」報告を受ける。
〃 11月	第8回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成11年1月	緑ヶ丘小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
〃 10月	緑ヶ丘小学校が学校給食優良校として文部大臣から表彰を受ける。
〃 11月	第9回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成12年11月	第10回しあわせライフ・フェスティバルへ参加 ○「五訂日本食品標準成分表」が公表される。
平成13年5月	上荻野小学校給食調理場調理開始
〃 9月	厚木第二小学校給食調理場調理開始
〃 11月	第11回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成14年5月	飯山小・依知小学校給食調理場調理開始
〃 11月	第12回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成15年5月	○平均栄養所要量の基準が改訂される。
〃 6月	妻田小学校給食調理場調理開始 荻野小学校給食調理場調理開始
〃 11月	第13回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成16年5月	北小学校給食調理場調理開始 学校給食残さ物資源化事業開始
〃 11月	第14回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
平成17年5月	緑ヶ丘小学校給食調理場調理開始 上依知小学校給食調理場調理開始
〃 7月	○「食育基本法」が施行される。
〃 11月	第15回しあわせライフ・フェスティバルへ参加 上荻野小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
平成18年3月	○「食育推進基本計画」が決定される。
〃 5月	南毛利小学校給食調理場調理開始
〃 11月	清水小学校給食調理場調理開始 第16回しあわせライフ・フェスティバルへ参加
〃 12月	○「教育基本法」が施行される（昭和22年法律第25号「教育基本法」の全面改訂）。

年月	移りかわり
平成19年4月	中学校完全給食開始。中学校（13校）は北部学校給食センターから、小学校（12校）は南部学校給食センターから配食することとなる。
〃 5月	三田小学校給食調理場調理開始
〃 12月	小鮎小学校給食調理場調理開始
平成20年5月	依知南小学校給食調理場調理開始
〃 7月	○「学校給食衛生管理の基準」が一部改訂される。
〃 9月	第1回「パクパクあつぎ産デー」 市内全小学校で厚木産の野菜を使った給食が開始される。
〃 11月	南毛利小学校が神奈川県学校給食特別優良校として表彰を受ける。
平成21年2月	厚木市食物アレルギー対応マニュアルを策定
〃 4月	○「学校給食法」が施行される（昭和29年6月3日法律第160「学校給食法」の一部改正）。 ○学校給食実施基準が改訂される。 ○学校給食衛生管理基準が一部改正される。
〃 11月	南毛利小学校が学校給食優良校として文部科学大臣表彰を受ける。 北小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
平成22年1月	鳶尾小学校給食調理場調理開始 第1回厚木市学校給食展を開催
〃 11月	上依知小学校が神奈川県学校給食特別優良校として表彰を受ける。
平成23年1月	第2回厚木市学校給食展を開催
〃 5月	毛利台小学校給食調理場調理開始
〃 8月	南部学校給食センター調理等業務委託開始
〃 9月	厚木中・玉川中・東名中・相川中学校は、北部学校給食センター対象校から、南部学校給食センター対象校となる。
〃 11月	上依知小学校が学校給食優良校として文部科学大臣表彰を受ける。 依知小学校が神奈川県学校給食特別優良校として表彰を受ける。
平成24年6月	市内一部の中学校で厚木産の野菜を使った給食の提供を試行的に実施する。
〃 11月	依知小学校が学校給食優良校として文部科学大臣表彰を受ける。 小鮎小学校が神奈川県学校給食特別優良校として表彰を受ける。
平成25年1月	第3回厚木市学校給食展を開催 ○学校給食実施基準の基準が一部改正される。
〃 4月	厚木小学校給食調理場調理開始 「厚木市学校給食費に関する条例」に基づき、学校給食費の公会計方式が施行される。
〃 11月	小鮎小学校が学校給食優良校として文部科学大臣表彰を受ける。 飯山小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
平成26年4月	厚木市立小・中学校食物アレルギー対応マニュアルを改訂
〃 10月	清水小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。

年月	移りかわり
平成27年1月	第4回厚木市学校給食展を開催
〃 3月	○食物アレルギー対応指針が策定される
〃 9月	学校給食異物混入対応マニュアルを策定
〃 12月	○「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」が公表される。
平成28年4月	厚木市学校給食施設の整備方針を策定
〃 7月	食物アレルギーの対応として「もぐもぐセブンオフデー」（特定原材料7品目を除いた給食）が試行される。
〃 11月	厚木小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
平成29年7月	（仮称）厚木市学校給食センター整備計画を策定
〃 8月	北部学校給食センター調理等業務委託開始 毛利台小学校調理業務が直営となる。
平成30年8月	○学校給食実施基準が一部改正される。
平成31年2月	厚木市学校給食集団食中毒発生時対応マニュアルを改訂
令和元年11月	上荻野小学校が神奈川県学校給食優良校として表彰を受ける。
令和2年3月	○学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドラインが改訂される。
〃 12月	○「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」が公表される。
令和3年2月	○学校給食実施基準が一部改正される。
令和4年1月	厚木市立小・中学校食物アレルギー対応マニュアルを改正
〃 9月	北部学校給食センター移転、中学校全13校の調理、配食開始。 南部学校給食センターは小学校6校のみの配食となる。
令和5年1月	厚木市立小・中学校食物アレルギー対応マニュアルを一部改訂
〃 9月	依知南小学校が神奈川県学校給食特別優良校として表彰を受ける。
令和6年4月	厚木市立小・中学校の児童・生徒の学校給食費無償化を開始。